総務省　多文化共生アドバイザー

No.40

1．基礎情報

自治体名	岐阜市
担当部署名	ぎふ魅力づくり推進部国際課
電話番号	058-214-6125
ホームページ	https://www.city.gifu.lg.jp/

みんなの森　ぎふメディアコスモス「多文化交流プラザ」

在留外国人数	令和6年1月現在	11,023	人	住民基本台帳人口に占める割合	2.7	%

うち、国籍別上位3ヶ国の人数及び国籍名	1位（中国・台湾）	2,493	人	2位（フィリピン）	2,059	人	3位（ベトナム）	1,540	人

2．多文化共生に関する活発な取組や、独自性・先進性のある取組の内容

大分類	コミュニケーション支援
小分類	行政・生活情報の多言語化、相談体制の整備
具体的な取組内容	取組のポイント：外国人市民が安心して生活できる環境と交流の場の創出 ○本市の国際交流・多文化共生推進の拠点である「多文化交流プラザ」（みんなの森　ぎふメディアコスモス（複合施設）内）において、外国人市民向けの多言語による相談窓口を開設するとともに、外国人市民と日本人市民が気軽に交流できる「場所づくり」事業を実施。 ○相談窓口は、英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語で対応。（スカイプによる相談も実施） ○「岐阜市多言語案内表示ガイドライン」を作成（平成28年3月）し、外国人市民や本市を訪問する外国人にもわかりやすい案内表示の整備に取組むほか、行政情報や案内看板等の多言語化を推進。 ○今般の新型コロナウイルス感染症や災害時の緊急情報をはじめ、外国人市民が必要な情報を多言語で的確に得られるよう「外国人向け生活情報ホームページ」を多言語で構築（やさしい日本語、英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、ベトナム語）。 ○大規模災害時には、災害時多言語支援センターを「多文化交流プラザ」に設置し、災害情報の発信等を行うことを想定。

大分類	意識啓発と社会参画支援
小分類	多文化共生の意識啓発・醸成
具体的な取組内容	取組のポイント：多文化共生のまちづくり ○「岐阜市多文化共生シンボルマーク」を作成（平成28年3月）し、多文化共生に対する市民意識の高揚を図っている。 ○令和2年3月に、前計画の理念「誰もが互いに多様性を理解し合い、ともに新たな魅力を創造するまちをめざして」を継承した「岐阜市多文化共生推進基本計画 -たぶんかマスタープラン2020～2024-」を新たに策定。外国人市民が必要な情報を得られるまちづくり、外国人市民の生活を支える安全・安心のネットワークがあるまちづくり、多様性を生かした活気に満ちたまちづくりをオール岐阜の体制で進める。また、「岐阜市多文化共生推進会議」を設置し、外国人市民と日本人市民が多文化共生施策について協議を行っている。 ○令和5年6月に、「多文化交流フェスタinメディコス」と題して、外国文化・遊びの紹介や体験、国際交流・多文化共生に関する展示を実施。 ○地域において日本人と外国人が連携し、外国人住民の地域活動への参加促進等を図ることを目的として、外国人住民が多い地域等に「岐阜市地域多文化共生推進員」（各地区日本人1名）を配置。